

# Report from the EDGE

ディスレクシア (Dyslexia) とは.....

知的に問題がなく、聴覚、視覚の知覚的機能は正常なのに、  
読み書きに関して特徴のあるつまずきや学習の困難を示す症状のことをいいます。

EDGE は.....

ディスレクシアの正しい認識の普及と教育的な支援を目的とした特定非営利活動法人 (NPO) として、  
2001年10月に認証・設立され、活動しています。

## エッジの10年 その1

藤堂栄子

### 始まりから六本木 NPO ハウス

#### 1999年10月 息子がディスレクシアとわかる

英国に留学した息子がディスレクシアかもしれないので検査をさせてほしいとの連絡が英国の学校から入りました。そのときの説明、その後の支援や配慮がエッジを作るきっかけとなっていますが、決定打は「僕はラッキーである。でも、これをラッキーで済ませてはいけない。誰でもが安心してこのくらいの支援が受けられるようであってほしい」という息子の一言でした。

それまではディスレクシアという言葉を知りませんでしたし、誰にも息子が LD かもしれないといわれたことはありませんでした。知人を頼り、インターネットで調べ、走り回ってやっと日本では LD と呼ばれていることを知りました。当時は外国でも日本でも日本にはディスレクシアの人はいないとも言われていたほど知られていませんでした。

#### 2000年8月 NPO 法人エッジ 発起人設立総会

多くの方の力添えがあり、NPO にしようということになりました。中心になる人たちは全員ディスレクシアを持つ青年の親で、応援団は教育の専門家、友人たちなど多数いました。どう考えても「尖がっている」「崖っぷち」という意味と悪い意味で特別という extraordinary を入れた EDGE を名前に決めました。

#### 2001年7月 六本木 NPO ハウス 入居

はじめは藤堂の自宅兼会社を事務所にしていま

### 目次

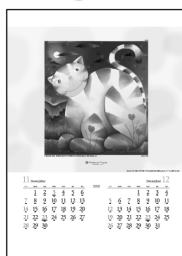
- P1 エッジの10年 その1
- P2 LD 学会報告
- P3 エッジ10年目のイベント
- P4 LSAリーダー研修 一川越、宮崎、明石、名古屋
- P5 「特別支援教育、効果的な支援システムを学ぶ」
- P6 WAM ワークショップ / 第27回DX会報告
- P7 デイキャンプ / 愛をはこぶ人キャンペーン
- P8 2010年エッジ組織改造 / 最近の活動紹介

TD-751  
マッケンジー・ソープ  
～愛をはこぶカレンダー～

608×425mm  
7枚  
価格未定  
(発売日以降に  
お問い合わせください)



2011年版は  
4月発売予定



〒116-0012 東京都荒川区東尾久8-32-1  
株式会社トーダン TD開発推進部

TEL 03(6859)1906  
FAX 03(6859)1916

赤い表紙が目印!

通常学級でできる支援のノウハウが満載!

たちまち  
増刷!



### クラスで気になる子の支援 ズバツと解決ファイル

達人と学ぶ! 特別支援教育・教育相談のコツ  
阿部利彦 編著 四六判・208頁・定価1,785円  
クラスの中にいる様々な「気になる子」。その理解の仕方や支援の方略を、それぞれの分野の「達人」たちがわかりやすく紹介。特別支援教育だけでなく、教育相談・生徒指導などにも活用できる1冊。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7 K 金子書房 ☎ 03-3941-0111(代) FAX 03-3941-0163  
URL http://www.kanekoshobo.co.jp

たが、ちょうど公募のあった六本木にある中学校の跡地に新設するNPOハウスに入居ができませんでした。30団体以上が同居する長屋のような形で、老若男女、大小内外のNPOが同居していました。5年だけの入居でしたがNPOとしての礎を作るのには最適の場所でした。また、このハウス自体が港区の行政との協働で行われていました。

### 2001年10月 東京都から認証～2003年解散の危機

NPO法人になってできることの幅が広がりました。まずは衆議院議員会館において7回連続で啓発セミナーを開催、メルマガやニュースレター発行などの啓発に取り組みました。名物のLD疑似体験

もこのころから日本LD学会にお許しを受けて各所で行いました。本人がディスレクシアの英国人画家、マッケンジー・ソープ氏とのご縁をいただいたのもこのころです。彼の代表作であるBearer of Loveにちなんでホテルオークラなどの協力を得て「愛をはこぶ人キャンペーン」を展開し始めました。

活動が大きくなるにつれて当初の理事たちの間で考え方の違いが出てきました。みんなディスレクシアの人たちがもっと住みやすい世の中をとということでは一致しているのですが、方法と方向性を巡って、理事5名のうち3名が退任、新たな体制となって再出発することとなりました。「次号へつづく」…

## LD 学会報告

東京学芸大学教授 小池敏英

LD学会では、特別講演として、イギリスのアダルトディスレクシア協会会長ドナルド・シュロスさんとサウスバンク大学のロス・クーパーさんのお二人をお招きし、講演をしていただきました。通訳として、藤堂さんにお手伝いいただきました。私は司会として参加いたしました。

お二人のフライトが交通機関の影響で遅延し、関係者の先生方が心配するという一幕がありましたが、当日、開演の時間までには、会場に来ていただき、余裕の中で講演を始めることができました。時間が少しあったので、大学の構内を散策していただき、日本の秋を楽しんでいただきました。休日であっても、学生がサークル活動をしており、中には、英語圏の留学生が制作活動をしていました。お二人が、その様子を興味深げに見るなど、国際交流の深まりを感じる一面でした。

講演の内容は、イギリスでの成人のディスレクシアの方の社会参加の取り組みに関するものでした。特に、印象深かったのは、成人のディスレクシアの困難を評価するためのアセスメントの手続きが、英国では作られているという情報でした。成人のディスレ

クシアの困難は、教育関係者でないと理解が難しいのですが、そのことを一般の人にも理解してもらう手続きが整備されていることは、日本と比べて、進んでいる点だと感じました。

現在、日本では、特別支援教育の課題としてディスレクシアの子どもの問題が取り上げられています。子どもたちの社会参加の課題は、日本でこれから取り組んでいかねばならない課題です。本講演は、日本の特別支援教育の課題について、先進の取り組みから光をあてたという点で、大きな今日的意味を有していたといえます。



この講演会は大和日英基金の助成金で実施されました

# エッジ10年目のイベント

EDGEが10年目を迎えるに当たっていろいろなイベントが目白押しです。  
ふるってご参加下さい。  
また、今まで同様にご協力をお願いいたします。

- 1) まずはマッケンジー・ソープ氏が来日、絵画展、ワークショップ、トークショーなどを各地で開催します。今年はとても明るくて可愛い絵柄がそろいました。また、絵の大きさも飾りやすいものがあります。この機会にぜひご来場下さい。(3月19日～3月29日)
- 2) イートン校聖歌隊チャリティーコンサートが行われます。ウィーン少年合唱団に優るともおとらない歌声で癒されてみませんか? そしてそれがエッジの活動にも役立ちます。4月2日に東京芸術劇場でスペシャルオリックス東京、日本赤十字東京支社とともにエッジを対象にコンサートが開かれます。切符をエッジからお買い求めいただくと運営費に当てられます。
- 3) 啓発ではこの外にディスレクシアの人が主役のドラマの話があります。
- 4) エッジの目玉である**学習支援員(LSA)**制度に関してはLSAの活動の様子がわかる本を製作中です。また、川越、宮崎、明石、名古屋の各地での取り組みも着々と進んでいます。多くの場所で支援に入る人たちがきちんと発達障害のことを理解して適切な支援が出来る基盤を作って行きたいと思っています。
- 5) **教科書バリアフリー法、著作権法**の改正を受けて、ディスレクシアの人たちも電子化や音声化された教科書の供与が可能になりました。また、どこでも公立の図書館で自分たちがほしい形に変えた本を借りることが出来ますし、加工することが出来



- るようになりました。エッジでは教科書の音声化の実践研究を文科省から委嘱を受けて進行しているところです。
- 6) **ディスレクシアの人の就労ガイドブック**を製作中です。本人たちが作る自分たちにとってわかりやすいものと考えております。発表会3月28日
  - 7) **デイキャンプ**を出来るだけ大人になった当事者の人に講師をお願いして行っています。絵画、料理、運動、理科実験、自然を楽しむなど東京南ロータリーにご協賛いただいています。
  - 8) この外にも**企業とのアライアンス**を進める予定です。法律がいろいろ出来ていますが本人たちにどれだけ伝わっていることか…特に権利について判りやすいバージョンを作れたらと思います。
  - 9) これだけの活動を推進するために**定款を変更**して理事の数を20名までできるとしました。2010年度理事のリストはP8を参照下さい。

<http://www.npo-edge.jp>



# LSAリーダー研修

— 川越、宮崎、明石、名古屋 —

特別支援教育、効果的な支援システムを学ぶ

**川越** ..... NPO法人チューリップ元気の会 溝井 啓子

藤堂栄子先生の二日目の講演会、午前は「LD疑似体験」でした。

いろいろやった中で、一番大変だったのが、ひらがなが規則正しくならんでいるものの、縦読みすべきなのか？横読みすべきなのか？どこから読み始めればいいのかわからない文。

漢字交じりの文章ならまだしも、ひらがなだけでは何のことが書いてあるのかわからないので、ただの文字の羅列にしか見えない・・・(@\_@;)

なるほど、読字LDの子どもたちは、普段こんなカンジに見えるのか…そりゃあ、教科書の文字を追うだけでも大変だよね…と、困難さがよくわかりました。

「LDの子たちは、復習よりも予習の方が有効。でも慣れても、正確さを増すことはできても、速

度を増すことができない」「授業に必要な物を準備する話をさせる時は、“使う目的を伝える”“時間割通り伝える”など、できるだけ詳しく、しかも簡潔に」…など、LDの困難さへの対応方法・支援方法などを、わかりやすく講演して下さいました。(チューリップ元気の会理事の感想)

当会の理事さんでも「LD疑似体験」をしたのが初めてだということで、今回は皆さん本当に良い体験をさせて頂いたと感謝しております。

また、3名の当事者のお話は興味深く、我々が如何に既成概念に縛られ日々の生活を送っているかという事を考えさせられました。感性豊かなお話を聞いて楽しいひと時を頂きました。

ありがとうございました。

**宮崎** ..... 宮崎LD・発達障害親の会「フレンド」 河野 明美

宮崎市では、行政、学校現場、当事者、保護者の面々が中心となり、その特徴を生かした講座が開けたと思います。

何より藤堂さんのポジティブなお話が、多くの人に励みとなったようです。また疑似体験も、本人たちの困り感を理解しただけでなく、実際自分が「分からない、置いて行かれる…」という苦しい思いをしたという声が結構上がり、これからの行動へとつながる有意義な体験だったと感じました。

そして最後に一人一人が自己紹介をし、一言ずつ感想を言う場面では、泣く人あり、思いのたけを語る人あり、これもまた必要な時間だったと思

いました。後日、泣いていた人が心配と気遣うメールもいただき、関心があっただけでなく、優しい人たちの集まりだったのですね。

さて今後の展開は容易ではないのは確かですが、この思いを忘れず、それぞれのできることを模索し、自分の分を果たせればと考えています。港区の充実した体制をお手本として…。もっと大きなことを言えば社会全体へと波紋が広がっていくように願います。子どもたちは皆の財産ですから…。

多くの人の協力の下、ひとまずこの講座を終えたことを感謝しています。

エッジでは港区で定着した LSA 制度を日本全国で展開するため活動をしています。2009 年は川越、宮崎、明石、名古屋の 4 箇所の方たちと連携してリーダー研修と LSA 育成講座の一部を開催しました。6 月に港区内の取り組みやシステムについての研修をした後、各地で 2 日間のセミナーを開催しました。



## 明石…………… NPO 法人市民サポートセンター明石 代表 田坂美代子

10 月 3 日は「LD 疑似体験と当事者の声」を藤堂栄子さんの講師で開催しました。4 月に開設された「明石市立発達支援センター」と共催できたこともあり、真新しい会場に兵庫県内 12 市 3 町から 93 名の参加がありました。保護者、教員、行政職員、議員、支援者など実に様々な方から「子どもの困り感が多少なりとも分かった」と大好評でした。

明くる 4 日は、会場を替えて「港区における特別支援教育と学習支援員の成果 Part II」を実施。藤堂さんには、昨年引き続きお話いた

だき、合わせて実際に学習支援員として仕事をされている木村綾子さんの具体的なお話を聞くことができました。3 年間に及ぶ様々な工夫とエピソードは、これから活動したいという方々にとって学ぶものが大きく、勇気づけられもしました。

文科省の特別支援教育調査官である樋口一宗さんからは、多くの資料から分かりやすい説明をいただきました。最後に、「それぞれの地域で一步前進するために」と題してパネルディスカッションを行いました。たくさんの質問をいただき、大変充実した研修となりました。

## 名古屋…………… ディスレクシア協会名古屋 吉田やすえ

昨年の 11 月 24 日、『特別支援教育、効果的な支援システムを学ぶ！ 一東京都港区の取り組みから』と題して、1 部は藤堂会長にご講演をしていただき、2 部は、深川さんに当事者からのお話をさせていただきました。会場は満席で、中日新聞社の取材が入るといった大盛況ぶりでした。藤堂会長のご講演は、3 度目になります。当初の頃は、「学習支援って、なに？」で藤堂さんをお迎えしました。NPO 法人「エッジ」の学習支援員の事業が成果を出されて全国から注目の的になるにつれ、エッジに何度か勉強に伺いました。学習支援員のレベルアップを継続的にされ、学校環

境整備の連携もする、まさに当時者の目線で必要なことを実現されている。素晴らしいご活動ですが、それは藤堂会長だからできること、と叶わぬ夢でございました。しかし、今回の講演会は、この 2 月・3 月に当地の「学習支援員の養成講座」を開催する準備のためにお越しいただきました。お会いするたびに、夢を実現していく力をいただける不思議な方です。また、ご提供いただいた「LD 疑似体験とお話」のプログラムも、学校現場で「目から鱗です！」と非常に好評です。

藤堂会長を始め NPO 法人エッジの皆さまに心から感謝をしております。

この活動は日本財団の助成を受け開催されました

## WAM ワークショップ

柴田章弘

ディスレクシアが作成するディスレクシアの人の就労ガイドブック作成のための6回のワークショップのうち、後半の4回が合宿も含め開催された。

第3回ワークショップ、2009年8月29日(土)、講師は木村志義さんで行われた。題は「履歴書を書くにはどうしたらよいか」だった。新卒を除いて、ワープロ打ちで問題ないと指摘され、当事者全員、安堵の表情が見えた。

第4回ワークショップ、8月30日(日)、講師は阿部利彦さんで行われた。「困ったときにして欲しかったサポート」等をペアで探してみた。どれも少し思いやりがあれば、簡単にできることだった。その後、「欠

点の見方を変え、誉め合う」のワークショップを行った。やっているうちにだんだん気持ちがよくなり、自信につながった。

第5回ワークショップは11月22日(日)、コーディネーター榎本達彦さんで行われた。「当事者と雇用人の意見交換」を待った。当事者4人は自動車免許を持っていても、規定期間内で筆記試験に合格した人が皆無でした。ディスレクシア当事者は、自動車免許取得が難題だ。

第6回ワークショップは「社会保険と企業の人事部の対応」で行われた。3月28日に発表会を行うので振るってご参加下さい。

この事業は独立行政法人福祉医療機構の助成金で実施しました

## 第27回DX会報告

柴田章弘

2009年12月6日(日)、第27回DX会は11人(男8名、女3名)の出席で、地域活動室で行われました。前半は「2009年、印象に残ったこと」を文字、絵、イラスト等を使って、A3の紙にクレヨンで描き、自己紹介をしていきました。各自のコメントが終わるたびに自然と拍手が起こりました。次第に、気分もほぐれ、リラックスしてきました。

ここで、ワークショップに入りました。今回は「カレンダー」の売買ゲームでした。全員を「売る側」と「買う側」に分け、それぞれに社長を決め、出てきたアイデアをまとめ、披露して、売買が成立できるかを検討する遊びでした。売る側から「好みに合わせて制作するカスタムカレンダー」、「匂いつきカレンダー」、「音声カレンダー」等の提案がありました。買う側から「記念日を教える音声カレンダー」、「丸いカレンダー」、「くじ付きカレンダー」

等があがりました。両サイドのアイデアを照らし合わせると取引は成立しそうでした。ここで参加者のテンションがピークになりました。小休止後、意見交換が終わり、参加者の顔が癒されたようにホンワカしてきました。今回も皆さん「元気」が出たかな。次のワークショップが楽しみになってきました。



## デイキャンプ

藤堂高直

今回のワークショップは子どもたちが創る楽しみを実際にゼロから作成に携わり、成果物に触れる事で実感出来るよう考えました。私は黒子に徹して、子どもたちが自由に表現できる形式としての4コマ写真と映像的に面白いものを作るためのアイデアを提供しました。

4コマ写真はワークショップの為に発案した形式です。実は最初は映画の絵コンテから着想を得ました。故にこの中には、物語を考える、衣装や舞台を創る、写真の構成を考える、立体的思考、協働作業、映画の絵コンテに近いので映画的思考、など様々な要素が含まれています。実際に成果物を見ると作品ごとの個性もさる事ながらそれぞれが面白くこの形式の可能性を示していると思います。また、ワークショップが始まる前は、まとまりの無かつ



た子どもたちも目的を通じて集中して一丸となり、最後にはとても良い表情になっていたのも印象的でした。

私自身も多々学ぶことがあったので機会があればまた是非、新しいワークショップの形を考えてみたいと思います。

この事業は東京南ロータリーの寄付金で実施されました



## 愛をはこぶ人キャンペーン

「マッケンジー・ソープカレンダー」2010年版をお買いあげいただき、ありがとうございました。皆さまのおかげで、約1000部、販売できました。謹んで御礼を申し上げます。

ご購入芳名 日本LD学会、株式会社ジェディック、黎明学園、味の素株式会社、ホルブ 他多数

「愛をはこぶ人  
キャンペーン  
～私たちのことを  
忘れないで(仮)」

## マッケンジー・ソープ来日記念絵画展 ～発達障害啓発ウィーク～

日程 3月19日(金)から3月31日(水)

期間中 オークラにて 3月21日(日) 画家来場 トークショー  
啓発ブース設置、グッズ販売、説明ボランティア在席

オークラの外で ソープさん関連

16日から22日	鎌倉 ミニ絵画展、ワークショップ、トークショー
21日	東京 エッジ主催ワークショップ、トークショー
22日	プランタン銀座 絵画展(外部)
23日または24日	千葉黎明高校 絵画展、ワークショップ、トーク
26日から28日	福岡 絵画展(愛をはこぶ人キャンペーン協力 エッジ後援)
27日から29日	大阪 絵画展(LD親の会主催 愛をはこぶ人キャンペーン協力 エッジ後援)





## 2010年エッジ組織改造

- 1) 定款改定 一理事数 「10名まで」から「20名まで」
- 2) 理事会開催 年3回 遠隔地の理事用に配慮必要  
(インターネットで協議など)
- 3) アドヴァイザー任用 これまでもいろいろと事業ごとにアドヴァイスをいただいていたが、今後さらに積極的な関与を求めため

### 理事候補 2009年度理事

- 藤堂 栄子 当事者、保護者、2001年から2009年会長  
堀口 順子 保護者、親の会、JDDネット、キャンペーン  
緒方 明子 学術、港区、学習支援員制度  
山根真知子 NPO法人運営、  
林 正紀 カウンセリング

### 新規理事候補

- 上田 恭子 港区、LSA (臨床発達心理士、学校心理士、SENS、個別支援室相談員、港区巡回相談員)  
大庭 亜紀 港区LSA、保護者、イラストレーター  
吉田やすえ 日本ディスレクシア協会名古屋、LSA、保護者  
館野智恵子 ディスレクシアアセスメント、保護者、NLP (在英)  
柴田 章弘 当事者、DX会、エッジ事務局  
榎本 達彦 DX会、就労 (明星大学講師)  
高月 壮平 キャンペーン、ファウンダー  
(日本イートン校事務所)

### 監事候補

- 星野 巖 FP

## Dyslexiaの啓発とサポートを目的にした NPO法人EDGEを応援しています。

東京蒲田ロータリークラブ

## 最近の活動紹介

### 2009年

- 10月18日 名古屋体験博覧会ワークショップ  
10月23～24日 名古屋講座  
10月31～11月1日 岩屋 講座 講演  
11月 8日 講演：徳島教育委員会  
11月20日 理事会  
11月22日 第2回WAM有識者会議／  
第5回WAMワークショップ  
12月 6日 DX会／第4回WAMワーキンググループ  
12月 9日 慶應義塾大学日吉 講座  
12月12～13日 JDDNet大会  
12月17日 蒲田で講演 (藤堂)、異業種交流会O.M.S  
12月19日 LSAフォローアップ研修  
12月26日 デイキャンプ  
(四コマ写真をつくるワークショップ)

### 2010年

- 1月12日 第8期LSA講座 (～2月25日)  
1月31日 第6回WAMワークショップ

- 2月 2～4日 バリユネスコ、  
ディスレクシアフォーラムに出席  
2月 6日 アメニティネットワークフォーラム：  
大津にて講演  
2月 7日 デイキャンプ (体を使うワークショップ)  
第28回DX会  
2月19日 港区民生委員講演

### 今後の予定

- 2月27日 浜松ルビオ講演会  
2月28日 総会／第3回WAM実行委員会  
3月13日 デイキャンプ (ボディパーカッション)  
3月19日 ソープさん来日 (～3月29日)  
3月19～3月31日 ホテルオークラ絵画展 (P7参照)  
3月21日 デイキャンプ (ソープさんと絵画)  
3月28日 WAM発表会  
4月 2日 イートン校聖歌隊チャリティーコンサート  
4月 2～8日 発達障害啓発ウィーク

## DESIGN IS OUR WORD

言葉を越えた 気づきも あります



tripod design®

トライポッド・デザイン 株式会社

www.tripoddesign.com

info@tripoddesign.com

## Report from the EDGE - 第22号 -

2010年2月22日発行

発行者 NPO法人EDGE  
発行責任者 藤堂栄子  
東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3F  
Tel. 03-6240-0670・0672  
Fax. 03-6240-0671

編集 NPO法人EDGE 事務局 柴田章弘  
印刷 株式会社 信英堂

http://www.npo-edge.jp  
http://blog.livedoor.jp/npo\_edge/  
E-mail: edgewebinfo@npo-edge.jp